

# 初期化パラメータファイルの設定

## SPFILE の設定

## PFILE の作成と使用方法

### 1. SPFILE の保存場所

%ORACLE\_HOME%\DATABASE・・・ディレクトリ  
SPFILE<SID 名>.ora・・・・・・・・・・ ファイル

### 2. SPFILE の設定

[サーバー] タブ→データベース構成・セクションの「初期化パラメータ」

[現行] タブ

現在の起動している状態での設定パラメータ値

この値を変更すると、現在のインスタンスに動的に値が反映される

☒ 「現在実行中のインスタンスモードでの変更を SPFile に反映させる」を☒すると、SPFile の値も変更される

[SPFile] タブ

再起動後に使われる初期化設定でのパラメータ値

### SQL\*Plus での操作

現状のパラメータ値の確認

```
show parameter spfile
```

パラメータ値の変更

```
alter system set パラメータ名=値 scope=適用範囲
```

↓

適用範囲: memory、spfile、both

文字列の時は、「"」ダブルクォーテーション囲み

### 3. PFILE の作成

```
create pfile from spfile
```

%ORACLE\_HOME%\DATABASE ディレクトリに作成される

デフォルト以外のディレクトリを使用する場合は、

```
create pfile = 'c:\¥initoracl.ora' from spfile = 'c:\¥spfileorcl.ora';
```

指定したファイルから作成する

※ sys ユーザーを SYSDBA として接続する必要がある

ファイルが作成される場所は、サーバーのディレクトリである

(クライアントからコマンド実行しても)

#### 4. PFILE の使用方法

`startup pfile = 'ファイル名'`